

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-211079

(P2003-211079A)

(43) 公開日 平成15年7月29日(2003.7.29)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テ-マ-コ-ド [*] (参考)
B05D 7/14		B05D 7/14	L 4D075
		1/32	Z
		1/36	A
			B
C25D 13/00	308	C25D 13/00	308 C

審査請求 未請求 請求項の数 5 0L (全6頁)

(21) 出願番号 特願 2002-15582(P2002-15582)
 (22) 出願日 平成 14年1月 24日(2002.1.24)

(71) 出願人 000003997
 日産自動車株式会社
 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

(72) 発明者 荒川 孝
 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社内

(72) 発明者 田中 修
 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社内

(74) 代理人 100099900
 弁理士 西出 眞吾 (外2名)
 最終頁に続く

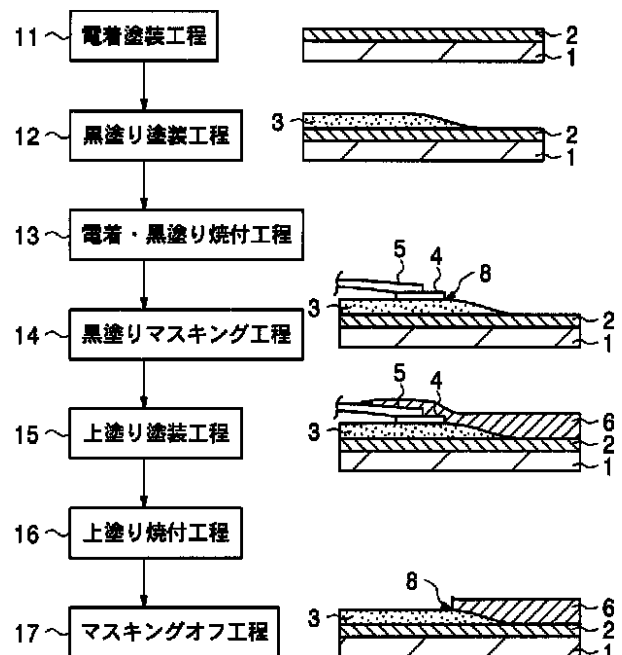
(54) 【発明の名称】 自動車車体の塗装方法

(57) 【要約】

【課題】 黒塗り塗装が適用できる2コート塗装系の塗装方法を提供する。

【解決手段】 自動車車体 1 に電着塗装を施す工程 1 1 と、未硬化状態の電着塗膜 2 の上に黒塗り塗料を塗装する工程 1 2 と、これら電着塗膜 2 および黒塗り塗膜 3 を同時に焼き付ける工程 1 3 と、黒塗り塗膜 3 をマスキングする工程 1 4 と、上塗り塗装を施す工程 1 5 とを有する。

図 1



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-311211
(P2003-311211A)

(43) 公開日 平成15年11月5日(2003.11.5)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード [*] (参考)
B05D 7/14		B05D 7/14	L 4D075
	5/06 101	5/06	101 A 4J038
C09D 5/00		C09D 5/00	Z
	5/38	5/38	
	7/12	7/12	

審査請求 未請求 請求項の数 1 0L (全6頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願 2002-123630 (P2002-123630)
(22) 出願日 平成 14年4月 25日(2002.4.25)

(71) 出願人 000001409
関西ペイント株式会社
兵庫県 尼崎市 神崎町33番1号
(72) 発明者 川合 義一
愛知県 西加茂郡 三好町 大字 筋生字 平地1
番地 関西ペイント株式会社内
(72) 発明者 遠藤 正浩
愛知県 西加茂郡 三好町 大字 筋生字 平地1
番地 関西ペイント株式会社内
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】自動車外板部の塗装方法

(57) 【要約】

【課題】本発明は、金属部材とプラスチック部材とが同時に併存する自動車車体外板部のこれらの両部材に塗装した両メタリック塗膜間の色一致性を改良することに関する。

【構成】自動車外板の金属部材に水性メタリック塗料(A)、プラスチック部材に有機溶剤系メタリック塗料(B)を塗装するにあたり、水性メタリック塗料(A)がアルミニウムフレークを10~20PHR含有し、かつグラファイト及び酸化チタン被覆グラファイトから選ばれた1種以上を該アルミニウムフレーク100重量部あたり1~10重量部含有してなり、有機溶剤系メタリック塗料(B)がアルミニウムフレークを10~20PHR含有することを特徴とする自動車外板部の塗装方法。

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-74035

(43) 公開日 平成16年3月11日(2004.3.11)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テームト [*] (参考)
B05D 7/14		B05D 7/14 L	4D075
B05D 1/36		B05D 1/36 B	4F100
B05D 7/24		B05D 7/24 302U	
B32B 31/00		B32B 31/00	
B32B 33/00		B32B 33/00	

請求項の数 9 審査請求 未請求 0L (全33頁)

(21) 出願番号	2002-238998	(71) 出願人	303046314 旭化成ケミカルズ株式会社 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号
(22) 出願日	平成14年8月20日(2002.8.20)	(72) 発明者	山下 正彦 神奈川県川崎市川崎区夜光1丁目3番1号 旭化成株式会社内
		(72) 発明者	下田 晃義 岡山県倉敷市潮通3丁目13番1 旭化成株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 自動車の塗装方法

(57) 【要約】

【課題】 平滑性、光沢等の仕上り外観、耐酸性、耐溶剤性等の化学的性質、硬度、耐衝撃性、耐屈曲性、耐擦り傷性(洗車機等での耐傷つき性)等の物理的強度、及び耐候性等に優れた塗膜が得られ、かつ硬化時間の短縮や硬化温度の低温化も可能な自動車の塗装方法を提供する。

【解決手段】 下塗り、又は下塗り及び及び中塗りを施した塗装板上へのベース塗料及びクリヤー塗料の塗装、或いは下塗りを施した塗装板上への中塗り塗料、ベース塗料、及びクリヤー塗料の塗装において、クリヤー塗料が分子内に2個以上のエポキシ基を有するエポキシ化合物及び脂肪族トリカルボン酸からなる自動車上塗り塗装方法又は自動車中塗り・上塗り塗装方法。

【選択図】 なし

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-89861

(43) 公開日 平成16年3月25日(2004.3.25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テマコード(参考)
B05D 5/06		B05D 5/06	C 4D075
B05D 1/06		B05D 1/06	A
B05D 3/00		B05D 3/00	B
B05D 7/14		B05D 7/14	L
B05D 7/24		B05D 7/24	301A

請求項の数 1 審査請求 未請求 0L (全7頁)

(21) 出願番号 2002-254774
 (22) 出願日 平成14年8月30日(2002.8.30)

(71) 出願人 000229597
 日本パーカライジング株式会社
 東京都中央区日本橋1丁目15番1号

(71) 出願人 000003207
 トヨタ自動車株式会社
 愛知県豊田市トヨタ町1番地

(74) 代理人 100057874
 【弁理士】 曾我 道照

(74) 代理人 100110423
 【弁理士】 曾我 道治

(74) 代理人 100071629
 【弁理士】 池谷 豊

(74) 代理人 100084010
 【弁理士】 古川 秀利

最終頁に続く

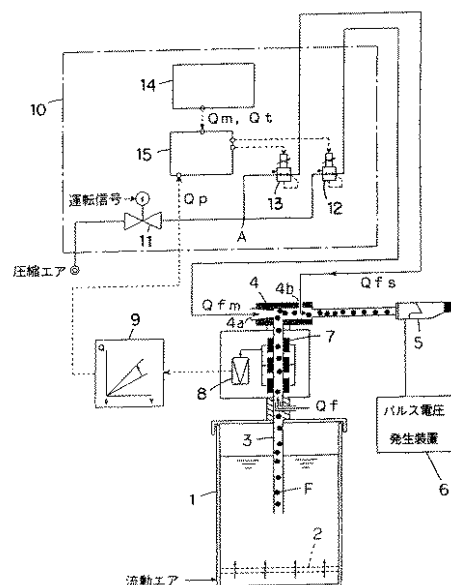
(54) 【発明の名称】 自動車ボディのトップクリア塗装方法

(57) 【要約】

【課題】この発明は、平滑性の優れたトップクリア層を効率よく形成することができる自動車ボディのトップクリア塗装方法を提供することを課題とする。

【解決手段】制御回路15は、粉体流量測定装置7で測定された微粒子塗料Fの供給量 Q_p が設定供給量 Q_m となるように吸引エア用圧力レギュレータ12を調節して吸引エアの流量 Q_{fm} を制御すると共に吸引エアの流量 Q_{fm} と希釈エアの流量 Q_{fs} との総和である搬送エアの流量 Q_t が一定となるように希釈エア用圧力レギュレータ13を調節する。このようにして塗装ガン5に供給された平均粒径 $1.0 \sim 2.5 \mu m$ の微粒子塗料Fは、パルス電圧発生装置6からのパルス状の高電圧を塗装ガン5のコロナ電極に印加することにより発生するコロナ放電によってパルス荷電された後、自動車ボディの表面に塗着される。

【選択図】 図1



(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-277505

(43) 公開日 平成16年10月7日(2004.10.7)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	テ-マ-コ-ト [*] (参考)
C09D101/18		C09D101/18	4D075
B05D 7/14		B05D 7/14	L 4J038
B05D 7/24		B05D 7/24	302V
C09D167/00		C09D167/00	
C09D177/00		C09D177/00	

請求項の数 5 審査請求 未請求 0L (全19頁)

(21) 出願番号	2003-068671	(71) 出願人	000230054 日本ペイント株式会社 大阪府 大阪市北区大淀北2丁目1番2号
(22) 出願日	平成15年3月13日(2003.3.13)	(74) 代理人	100086586 【弁理士】 安富 康男
		(74) 代理人	100120019 【弁理士】 八木 敏安
		(72) 発明者	大南 廣一 愛知県高浜市新田町3丁目1番5号 日本 ペイント株式会社内
		(72) 発明者	牟礼 章一 愛知県高浜市新田町3丁目1番5号 日本 ペイント株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 塗装仕上げ方法、自動車車体、自動車部品及び常乾塗料組成物

(57) 【要約】

【課題】フロントグリル等の部位に、他の部位と色相の異なる塗膜を塗装後に常温乾燥で形成することができ、かつ、形成される塗膜が硬化後の上塗り塗膜に対する付着性にも優れている塗装仕上げ方法を提供する。

【解決手段】自動車車体又は自動車部品の上塗り塗膜形成後に、常乾塗料組成物を用いて塗膜形成を行う塗装仕上げ方法であって、上記常乾塗料組成物は、硝化綿、ポリアマイド樹脂、ポリエステル樹脂及び顔料からなるものであり、上記ポリエステル樹脂は、数平均分子量(Mn)が1000~5000、酸価(AV)が80~250mg KOH/g、水酸基価(OHV)が5~50mg KOH/gである塗装仕上げ方法。

【選択図】 なし